



気象予報士の試験に合格し、取得した資格数が30になった宇井さん＝東区の金城学院高で

気象予報士合格 資格取得数は30

宅建、ファイナンシャルプランナー、秘書検定1級、危険物取扱者…。多くの資格を持つ高校生がいる。金城学院高（東区）3年、宇井星日さん＝尾張旭市。10月には合格率5%前後の難関、気象予報士試験に合格、取得した資格は30となった。「人の役に立ちたいという思いがあったから頑張れた」と振り返る。（下條大樹）

金城学院高・宇井さん「人の役に立ちたい」

宇井さんは中学2年の時、高校卒業程度の英語能力が求められる英検2級を取得し、大きな達成感を得た。さらに、新型コロナウイルス禍で自宅学習の時間が増えたのを機に資格取得に取り組むようになった。

古本屋に並ぶ資格本から興味が湧いた資格に挑戦し、パソコン検定、数学検定、パンシエルジュ検定、中国語検定、名古屋観光検定などを次々と取得していった。ポイントはとにかく実戦的な問題量をこなすことと話し、隙間時間を活用してきた。

気象予報士試験に挑戦したのは、天気に関心があったのに加え、好きな北海道が雪害や交通障害に見舞われるのを解決するため、気象を学びたいと思ったからだ。ただ、データを読み解き、予報を行う実技試験が、これまでの試験とは「別格の難しさだった」。

高校1年生の時に挑戦を始め、合格にはなかなか手が届かなかったが、今年は夏休みに1日10時間かけて対策した。気持ちがくじけそうになったこともある。そんな時、行政書士の資格を取得した知人から「合格した人にしか見えない景色がある」と声をかけられ、勇気づけられた。合格が発表された際は泣いて喜んだ。「人生で一番うれしかった」という。

来春から理系の大学に進学することが決まった。まずは大学院への進学を目指して勉学に励んだ上で、仕事に直結する資格を取得できれば、と考えている。現在は減災や防災に関心があるといい、「人々の暮らしを快適にしていけたら」と話した。